

# 新しい県オリジナル水稻品種について

令和元年6月10日

福島県農林水産部

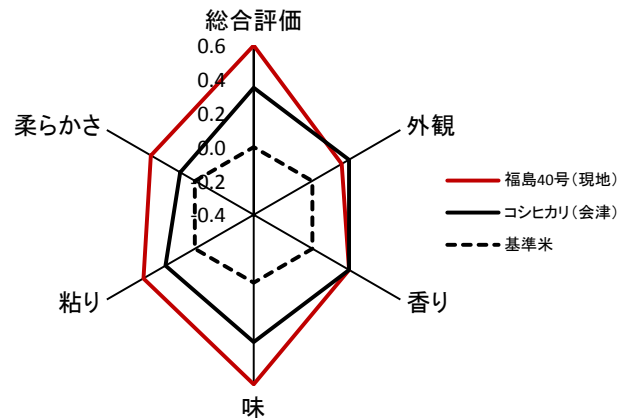
## 1 主食用の良食味品種「福島40号」

### (1) 品種の特徴

- 大粒で強い甘みと香りを持ち、やわらかめに炊き上がる特徴を持つ品種です。  
食味は「コシヒカリ」並との評価を得ています。
- 草丈が短く、倒れにくく、いもち病にかかりにくいなど栽培しやすい品種です。  
収量は「コシヒカリ」並～やや優ります。



成熟期の様子



日本穀物検定協会による食味試験結果(H29)

基準米: 複数産地コシヒカリブレンド米

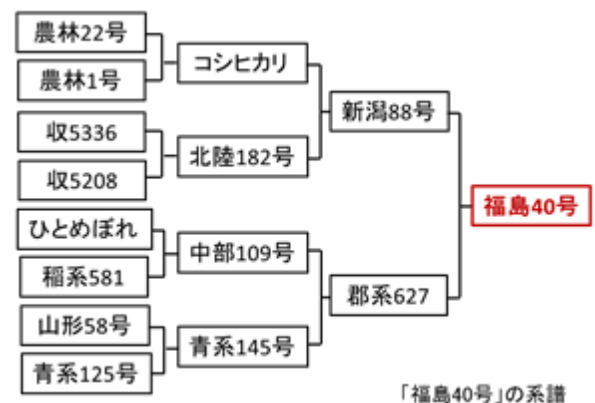
現地: 西会津町産、会津: 会津坂下町産

### (2) 育成の経過

- 品質と食味が優れる品種の開発を目指し、平成18年(2006)に「コシヒカリ」の血を引く「新潟88号」を母、「ひとめぼれ」の血を引く県育成系統「郡系627」を父として交配し、品質及び食味の確認を繰り返してきました。
- 令和元年(2019)5月31日に開催した福島県奨励品種決定審査会において、奨励品種への採用が決定しました。

### (3) 新品種の名稱

- 「福島40号」の品種名称については、今後広く一般に募集を始め、来年3月の公表を予定しています。



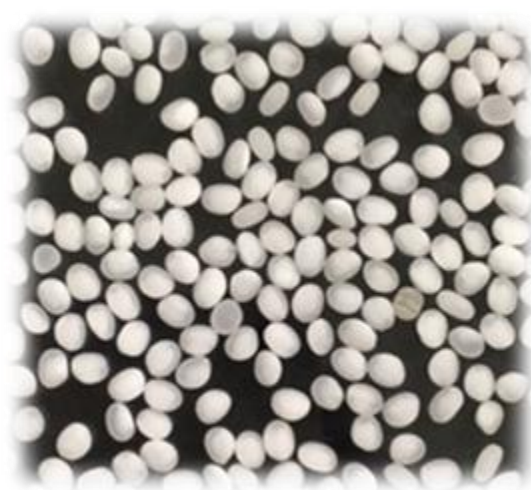
## 2 酒質の優れる酒造好適米品種「福島酒 50 号」

### (1) 品種の特徴

- 酒造りで求められる心白が入りやすく、大きい特徴があります。このため、精米歩合を高めると醸造時に溶けやすいという短所はあるものの、他の酒造好適米と比べてアルコール取得量が多く、酒は雑味のないきれいな味で、香り高くなる長所があります。
- 他の酒造好適米と比べて倒れにくく、いもち病や冷害にも強いので、作りやすい品種です。収量は「五百万石」並～やや劣ります。



玄米



搗精歩合40%の精白米

### (2) 育成の経過

- 酒質が優れる品種の開発を目指し、平成 16 年 (2004) に「山田錦」の血を引く「静系酒 88 号 (のちの誉富士)」を母、酒質が優れる「山形酒 86 号 (のちの出羽の里)」を父として交配し、酒質等の確認を繰り返してきました。
- 平成 29 年 (2017) から 2 か年にわたり、本宮市、天栄村、会津若松市、会津坂下町、会津美里町のほ場で栽培試験を行い、玄米品質が優れることを確認しました。
- さらに、2 か年で 11 の蔵元の協力を得て、醸造試験を行い、酒質に優れる品種であることを確認しました。
- 令和元年 (2019) 5 月 31 日に開催した福島県奨励品種決定審査会において、奨励品種への採用が決定しました。

### (3) 新品種の名称

- 「福島酒 50 号」の品種名については、今後広く一般に募集を行い、年内には新しい名称を公表する予定です。

